山紫海碧

有銘幼小中学校
学校便り 48号
山紫に海碧く
H27.4.24

学校車のご寄贈ありがとうございます

本校の七期生であり、フジレンタカー社代表取締役・社長の仲村富吉氏より学校車(トラック)のご寄贈がありました。四月二十三日(木)に中村氏をお招きして贈呈式を行いました。

仲　村　富　吉　氏

贈呈式には、同期で仲村氏との調整役をかっていただいた山口栄三氏、比嘉一之教育長、鶴見教育課長のご臨席を賜り、吉本ＰＴＡ会長、又吉ＰＴＡ副会長、渡嘉敷環境整備部長、仲嶺代議士がご参列され、全校生徒で感謝をいたしました。スポーツ大会や学校行事等に大切に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

私達、有銘小中学校に学校車を寄贈してくださり、ありがとうございます。

私達中学生は、陸上大会の移動時などに、荷物も一緒に一台に詰めて持っていくので、かなりギュウギュウで苦しい状態でした。

これからは荷物をトラックで運ぶと思うので、選手の皆さんは広々と余裕をもって大会に臨むことができます。

それ以外にもいろいろ役に立ちことがあると思うので、とても嬉しいです。今回の寄贈、本当にありがとうございました。

生徒会長　上原梨央

車体の概要
トヨタ LITEACE　小型貨物車
総排気量 1800cc ガソリン車
最大積載量1000kg 乗員定員3人
車検満了年　平成28年2月

うるう年とうるう秒

今年、「二〇一五年七月一日」に一日の長さが一秒増えるそうです。

閏(うるう)年とは、地球が太陽の周りを一年かけて回る(公転する)ので、カレンダー(太陽暦)と季節のずれを日を増やして調整する年のことです。

わかりやすく言うと、実際の公転は三百六十五日と五時間四八分四五秒強あるため、カレンダーの一年三百六十五日とは、五時間あまりのずれが毎年起きてしまいます。そこで、ずれを修正するため五時間あまり×四年＝二十時間あまりと計算し、四年に一度、二月二十九日の日をつくって、調整するのです。閏年の一年は、三百六十六日あることになります。

なぜ、二月かというと、カレンダーを最初に作ったとされる古代ローマ暦では、三月が年度始めで、二月が年度末だったから、のようです。

四〇〇年間に九七回の閏年を入れても、微妙なずれは起こるので、今度はうるう秒をつくって調整しようということです。

一日の長さはきっちり二四時間ではないのですね。

幼稚園生とこいのぼりづくり

ていねいに教えてくれた一・二年生の皆さん、ありがとうございました。

一・二年生が幼稚園生を招いて、こいのぼりづくりをしました。色ビニールに目玉やカラフルなうろこを貼っていき完成させました